

## ジョンソン &amp; ジョンソン(JNJ)

【セクター】 医薬品

【市場】 NYSE

## 【企業概要】

世界最大のヘルスケア企業です。売上の51%を占める医薬品部門は、免疫学、感染症、神経科学、腫瘍学、心臓血管と代謝疾患を含む5つの治療分野を中心に乾癬治療薬「ステラーラ」、多発性骨髄腫治療薬「ダーザレックス」、リウマチ治療薬「レミケード」などを擁し、同32%を占める医療機器部門は、外科手術、整形外科、心臓血管、糖尿病ケア及び視力ケア分野に使用される製品を扱い、同17%の消費者部門は、ベビー・ケア、口腔ケア、スキン・ケア、市販薬、女性の健康と創傷ケアなどの分野の製品を扱います（19年12月期）。

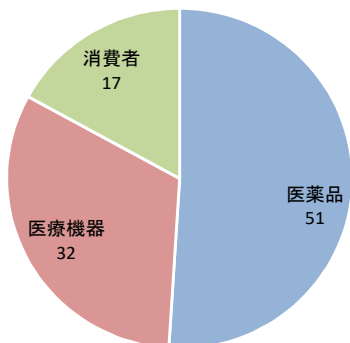
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
18年12月期	81,581	18,427	6.76	3.54	22.4	30.7	39.1
19年12月期	82,059	19,466	7.25	3.80	-	-	-
20年12月期予想	85,819	24,173	9.06	4.00	23.9	36.6	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【主要指標】

図表1 部門別売上構成比（19年12月期、%） 図表2 主力医薬品の20年12月期予想売上（予想はBloomberg）



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

薬名	用途	予想売上 (億ドル)
ステラーラ	乾癬治療薬	73
イムブルビカ	B細胞性腫瘍の治療薬	42
ダーザレックス	多発性骨髄腫治療薬	38
レミケード	関節リウマチ治療薬	36
インヴェガ・サステナ	精神病治療薬	36
ザイティガ	前立腺がん治療薬	27
シンポニー	関節リウマチ治療薬	24
ザレルト	経口抗凝固薬	23

（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【会社の見方】

図表2の20年12月期の予想売上上位8品目のうち、レミケードを除く7品目が今期・来期と拡大する見込みで、医薬品の特許切れによる業績リスクは2022年までないとみられています。新薬のパイプラインは比較的強く、また、これを強化するためのM&Aも可能な財務状況と考えられます。リスク要因として、ベビーパウダーのタルク（滑石）にアスベストが含まれていた問題で1万6,800件の訴訟を抱えています。ただ、50～100億ドルで和解できる可能性が高いとみられています。また、医療用麻薬「オピオイド」による中毒問題でも制裁金を科される可能性があります。

## 【見通し・注目点】

20年12月期の業績ガイダンスは、売上が前年比4～5%増、EPSが同3～5%増とし、「その他利益」の減少などを除く基調利益は約8%の増加と堅調となる見通しです。医薬品部門は主力薬がけん引し、医療用機器は最近投入した新製品が伸びる見通しで、消費者部門では収益性改善のため製品数を削減の方針です。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 20/1/29)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。